

BUSINESS REPORT



株主の皆さまへ 第111期 報告書

2020年12月1日から2021年11月30日まで

津田駒工業株式会社

新体制で業績の回復と、企業の成長に取り組めます。



代表取締役会長
CEO（最高経営責任者）
高納 伸宏
(たかの のぶひろ)

略 歴

平成25年2月 取締役
平成27年2月 代表取締役社長
令和 4年2月 代表取締役会長
CEO



代表取締役社長
COO（最高執行責任者）
山田 茂生
(やまだ しげお)

略 歴

平成28年2月 取締役
平成31年2月 共和電機工業株式会社
代表取締役
令和 4年2月 代表取締役社長
COO

第111期報告書をお届けするにあたり、ひとことご挨拶を申し上げます。

当社は、令和4年2月25日に開催いたしました第111回定時株主総会及び取締役会におきまして、代表取締役会長 菱沼捷二氏が退任し、新たに代表取締役会長 CEOとして高納伸宏が、また、代表取締役社長 COOとして山田茂生が就任いたしました。新体制のもと、業績の立て直しに向けて全社一丸となって取り組んでまいりますので、引き続きご支援を賜りますようお願い申し上げます。

さて、当期のわが国経済は、一部の業界で回復傾向が見られましたが、新型コロナウイルス感染症の再拡大や世界的な半導体不足等の影響により、先行き不透明な状況が続きました。こうした中、当企業グループは、新製品の市場投入を行うなど受注・売上の拡大に注力するとともに、生産の効率化とコスト削減活動を進め、業績の改善を図りました。繊維機械事業、工作機械関連事業ともに受注・売上は前期を上回りましたが、十分な量を確保するには至らず、生産は低調に推移いたしました。この結果、工作機械関連事業では営業利益を計上いたしました。全体では3期連続の営業損失の計上となりました。

このような状況に対し、当企業グループは「中期経営計画2023」に掲げる施策を確実に実行し、早期に黒字体質への転換を図るべく、グループの総力を挙げて取り組んでまいります。特に2022年度におきましては、繊維機械事業では、昨年度に市場投入し、お客様から高い評価をいただいております新型エアジェットルーム ZAX001neoの販売促進を図ってまいります。すでにお客様からご要望をいただいております新たな仕様の拡大・充実を図り、迅速に市場投入して受注・売上につなげてまいります。また、生産の効率化、コストダ

ウンを徹底的に進めるとともに、原材料や海上輸送運賃の高騰などを反映した販売価格の改善を行い、採算性の改善に努めてまいります。

工作機械関連事業では、主要な納入先であります工作機械業界や自動車業界等の回復需要を積極的に取り込み、受注・売上の拡大を図ります。特に、自動車業界に対しましては、当社の強みでありますエンジン部品加工用の特注機の受注を確実にするとともに、加速するEV化に対応した汎用機種種の拡大を図ります。また、需要の拡がりが見込まれるEMS業界に対しては、実績のある従来機種に加え、新製品を提供し、需要の取り込みを図ってまいります。

株主の皆様のご期待に応えられますよう、当社が培ってまいりました技術力と品質をもとに、新しい時代に対応した新製品の開発と商品化、モノづくりの革新を続け、新しい津田駒の創生に努力してまいります。今後ともご支援を賜りますよう、お願い申し上げます。

代表取締役会長 CEO 高納伸宏
代表取締役社長 COO 山田茂生

連結業績ハイライト	
受注高	経常損失 (△)
29,361 百万円 (前期21,784百万円)	△3,605 百万円 (前期△4,688百万円)
売上高	親会社株主に帰属する当期純損失 (△)
27,796 百万円 (前期20,851百万円)	△4,495 百万円 (前期△4,520百万円)
営業損失 (△)	1株当たり当期純損失 (△)
△3,723 百万円 (前期△4,484百万円)	△703.61 円 (前期△707.56円)

(注) △印は、損失を示しています。



当企業グループは「われわれはつねに最高の品質をめざし、社会に貢献する」の社是のもと、世界最高の技術と品質を究めたモノづくりと、公正な企業活動を通じて産業の発展に貢献し、安全で豊かな市民生活の実現と持続可能な世界の実現に寄与いたします。

～繊維機械事業～

環境性能を高めた、新型ジェットルーム2機種発表

2021年5月、新型エアジェットルーム「ZAX001neo」と新型ウォータージェットルーム「ZW8200」をWebで世界同時公開しました。これらは市場が注目する環境性能と製織能力を極限まで高めた機種で、直後の6月に中国で開催されました国際繊維機械見本市で紹介、また11月には中国でZAX001neoの実機プライベート展を開催し、多くの引き合いをいただき、受注いたしました。



www.tsudakoma.co.jp/newjetlooms



当社HPに開設された新型ジェットルームサイト。

サステナブル・サイジングを実現

サイジングマシンは、ジェットルームに仕掛ける経（たて）糸に糊付けを施し、糸品質を向上する装置です。2021年、当社は新型サイジングマシン「TTS30S」を市場投入しました。糊付けの安定性、高い生産性、使いやすい操作性、優れた環境性能を実現し、サステナブルなサイジング工程の実現に貢献します。

競争が激しい繊維機械市場ですが、当社はジェットルームとサイジングマシン、両方の製品群を持つ強みを発揮し、販売拡大を目指します。



 T-Tech Japan

新型サイジングマシン「TTS30S」

～工作機械関連事業～

予防保全を可能にしたIoT対応NC円テーブル

NC円テーブルの稼働中に外部（加工）に起因する振動、モータやカバー内の湿度・温度、稼働時間などのデータを採取し、NC円テーブル単体の稼働状況をクラウド上に蓄積するシステムです。これにより、保全・メンテナンス時期を明確化し、予防保全を可能にします。EMO MILANO2021展に出品しました。



稼働状況を見る化し、予防保全に貢献する。

～健康経営～

「DBJ健康経営（ヘルスマネジメント）格付」融資

2021年8月、株式会社日本政策投資銀行様が主催する「DBJ健康経営（ヘルスマネジメント）格付」融資において、石川県内初の最高ランク格付を取得し、これに基づく融資を受けました（株式会社北陸銀行様、株式会社北國銀行様協調融資）。SDGsにおいても健康経営が強調されていますが、当社は以前から従業員の健康管理に力を入れており、産業健康スタッフが常駐する「健康相談室」の設置や、独自の健康イベント「津田駒ヘルシーチャレンジ」「津田駒健康アクション」等、工夫を凝らした活動を評価いただきました。



認定証授与式の様子。（DBJ 板橋史明北陸支店長殿（左）と当社 高納（右））

事業別の状況

繊維機械事業

受注高	23,421	百万円 (前期比39.2%増加)
売上高	22,293	百万円 (前期比43.3%増加)
営業損失(△)	△2,504	百万円 (前期営業損失△2,856百万円)

工作機械関連事業

受注高	5,940	百万円 (前期比19.8%増加)
売上高	5,502	百万円 (前期比3.9%増加)
営業利益	29	百万円 (前期営業損失△407百万円)

連結財務データ

連結貸借対照表 (単位：百万円)

科目	前期 令和2年11月30日現在	当期 令和3年11月30日現在
資産の部		
流動資産	18,810	20,302
固定資産	12,663	12,022
有形固定資産	9,630	9,001
無形固定資産	702	612
投資その他の資産	2,330	2,408
資産合計	31,473	32,325
負債の部		
流動負債	16,283	18,566
固定負債	5,893	8,507
負債合計	22,176	27,073
純資産の部		
株主資本	9,158	4,663
その他の包括利益累計額	28	476
非支配株主持分	109	112
純資産合計	9,296	5,252
負債純資産合計	31,473	32,325

(注) 記載金額は、百万円未満を切り捨てて表示しております。

連結損益計算書 (単位：百万円)

科目	前期 令和元年12月1日から 令和2年11月30日まで	当期 令和2年12月1日から 令和3年11月30日まで
売上高	20,851	27,796
営業損失(△)	△4,484	△3,723
経常損失(△)	△4,688	△3,605
税金等調整前当期純損失(△)	△4,487	△4,311
当期純損失(△)	△4,542	△4,492
親会社株主に帰属する当期純損失(△)	△4,520	△4,495

(注) 記載金額は、百万円未満を切り捨てて表示しております。

会社概要

本社所在地 〒921-8650 石川県金沢市野町5丁目18番18号
 設 立 昭和14年12月30日（創業 明治42年3月）
 資 本 金 123億1,654万円
 従 業 員 944名

役員の状況（令和4年2月末日現在）

代表取締役会長 CEO	高山 納	伸 宏	TSUDAKOMA Europe s.r.l. 代表取締役
代表取締役社長 COO	山田 茂	生 宏	法務・コンプライアンス室担当
常務取締役	松任 宏	幸 司	管理部門統括、輸出管理室長、ふぁみーゆツダコマ株式会社 代表取締役
取 締 役	北野 浩	一 仁	工作機械関連事業統括、鋳造部門統括、航空機部品推進室長
取 締 役	坂大 井	充 一	コンポジット機械部門統括、品質保証部門統括、株式会社T-Tech Japan 代表取締役
取 締 役	寺田 武	志 治	共和電機工業株式会社担当、共和電機工業株式会社 代表取締役
取 締 役	越馬 進	資 勝	繊維機械事業統括、TSUDAKOMA SERVICE INDIA PRIVATE LIMITED 代表取締役、津田駒機械設備（上海）有限公司 董事長、津田駒機械製造（常熟）有限公司 董事長
取締役（社外）	潮橋 本	博 史	
取締役（社外）	長谷 博	政 隆	
常勤監査役	澁谷 政		（カジナイロン株式会社 代表取締役社長）
常勤監査役	梶 二		
監査役（社外）	菱 井	和 也	製造第1部長
監査役（社外）	井 哲	幸 峰	生産技術部長
相 談 役	宮田 博	幸 峰	調達部長
執 行 役 員	林 隆	峰 史	繊維機械事業 中国市場担当
執 行 役 員	大 河	哲 史	工機販売部長、ツダコマテクノサポート株式会社 代表取締役

株式の概況（令和3年11月30日現在）

株式の状況

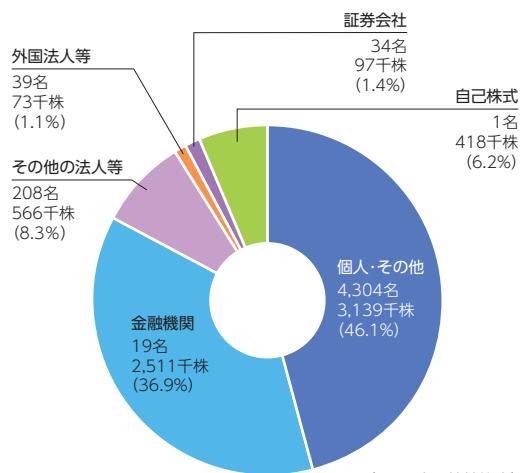
①発行可能株式総数	19,900,300株
②発行済株式の総数	6,807,555株
（内自己株式の数）	（418,960株）
③単元株式数	100株
④株主数	4,605名

大株主の状況

株 主 名	持株数（千株）
津田駒取引先持株会	1,096
株式会社日本カストディ銀行（信託口）	749
日本マスタートラスト信託銀行株式会社（信託口）	435
明治安田生命保険相互会社	350
株式会社北陸銀行	258
株式会社北國銀行	232
ツダコマ従業員持株会	197
東京海上日動火災保険株式会社	177
三井住友海上火災保険株式会社	172
みずほ信託銀行株式会社 退職給付信託 北陸銀行口	50
再信託受託者 株式会社日本カストディ銀行	

（注）当社の保有する自己株式418千株は上記表には含んでおりません。

株式の分布状況



（カッコ内は持株比率）



株主メモ

事業年度	毎年12月1日から翌年11月30日まで
基準日	定時株主総会・期末配当 毎年11月30日 中間配当 毎年5月31日
定時株主総会	毎年2月
公告方法	当社ホームページ上に掲載
上場証券取引所	東京証券取引所（第1部）
株主名簿管理人	東京都千代田区丸の内一丁目4番1号 三井住友信託銀行株式会社
郵便物送付先	〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部
（電話照会先）	TEL 0120-782-031（フリーダイヤル） 受付時間 9:00～17:00（土日休日を除く）

ホームページのご案内

<https://www.tsudakoma.co.jp/>